

教 員 経 歴 調 書

履 歴 書					
フリガナ	マスモ セイジ	性別	男	生年月日（年齢）	昭和 42 年 12 月 1 日（満 57 歳）
氏 名	増茂 誠二				
国 籍	日本	現住所	千葉県市原市大厩 1826－15		
学 歴					
年 月	事 項				
S61 年 3 月	神奈川県立愛川高等学校卒業				
S61 年 10 月	神奈川県消防学校入学 S62 年 3 月卒業				
H13 年 4 月	(財) 救急救命東京研修所入所 同年 10 月卒業 (救急救命士国家資格取得)				
H19 年 4 月	国士舘大学大学院スポーツシステム研究科スポーツシステム専攻入学 H20 年 3 月卒業 修士取得 (救急救命学)				
H21 年 4 月	千葉大学大学院 医学薬学府 環境健康科学専攻 医学博士課程入学 H29 年 6 月単位取得満期退学				
R 7 年 4 月	千葉大学大学院人文公共学府 公共社会科学専攻博士前期課程入学 (公共政策研究)				
職 歴					
年 月	事 項				
S61 年 4 月	厚木市消防本部入職				
H18 年 3 月	同消防本部退職 (主査 消防司令補 救急副小隊長)				
H18 年 4 月	厚生労働省救急救命士指定養成校 国際医療福祉専門学校救急救命学科長就任				
H24 年 4 月	同校副校長 兼救急救命学科長就任				
H26 年 4 月	同校副校長 兼理事就任				
H27 年 3 月	同校退職 同校顧問 非常勤講師就任				
H27 年 6 月	市原市議会議員初当選 市原市地域医療協議会委員就任				
H31 年 6 月	市原市議会議員二期目当選 教育民生常任委員長就任 自民党市原支部政調会長就任				
R3 年 3 月	学校法人 国際医療福祉専門学校理事長補佐就任				
R3 年 8 月	市原市地域保健医療協議会副会長就任				
R5 年 6 月	市原市議会議員三期目当選 総務常任委員長就任 調査特別委員就任				
H19 年	兼任				
H24 年	順天堂大学医学部附属浦安病院救命救急センターER 勤務 千葉県医師会・歯科医師会・薬剤師会 BLS 担当非常勤講師				
H26 年					
H26 年	杏林大学保健学部非常勤講師				
H28 年	全国救急救命士教育施設協議会副代表理事就任 東京電力福島原子力発電所内救急処置室勤務 株式会社日本 SI 研究所 顧問就任 (救命ドローン)				
R 2 年	その他 社会的職歴 市原市剣道連盟顧問 (剣道教士七段)				
R3 年	千葉県パワーリフティング協会会長				
R3 年	一般社団法人 日本救急救命士会設立発起人				
R4 年	国士舘大学 防災・救助救急総合研究所嘱託研究員就任				

2025 年度 法政大学大学院（様式 3）

R5 年	市原 A E D 救命会設立発起人 新しい祭り ドラゴン屋台横丁開催発起人		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会		日本救急医学会 日本臨床救急医学会 日本救護救急学会	
年 月	事 項		
H18 年	東映 映画アンフェア 医療指導 千葉市・市原市における小中学校に対する「命の教育」の普及に従事。 東京マラソンを始め千葉県内外のマラソン大会救護統括に従事。救急救命士学生による救助活動により 2 名を蘇生させる（神宮外苑マラソン、千葉マリンマラソン）		
H23 年	一般社団法人 全国救急救命士養成施設協議会理事 BLS 普及啓発委員長就任		
H25 年 H27 年	全国救急救命士学生技術選手権大会 実行委員長（フクダ電子アリーナ） 市原市内三次救急医療の整備、救命救急センター整備に尽力する。（市原市議会にて） 高齢化の救命教育に携わる。地域救命団体（高滝救友会を設立に寄与） 市原市内に AED 普及啓発活動及び市民向け「緊急対応マニュアル」の作成をする		
H28 年	一般社団法人 全国救急救命士養成施設協議会副代表理事就任		
H30 年	2020 東京オリンピック・パラリンピック救護従事者認定指導者		
H31 年	市原市議会にてドクターカーシステムを提言 教育民生常任委員会にて		
R 1 年	房総半島沖台風被害にて避難所救護者として活動（辰巳台公民館）		
R 2 年	市内幼稚園・保育園、高齢者施設において防災講師として活動（24 施設）		
R 2 年	2020 東京オリンピック・パラリンピック救護者としてテコンドー競技に従事する		
R 3 年	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種大型会場にて副反応経過観察員として従事		
R 4 年	チャリティーゴルフコンペを活用し屋外 A E D を市内 6 カ所設置する（発起人）		
R 5 年	地域活性化を目的に「ドラゴン屋台横丁」を開催 1 万人の集客を実現（発起人）		
R 5 年	衆議院「救急救命士を支援する議連」会長に松野博一代議士を指名。（法改正に尽力）		
R 6 年	レスキューガイド（特許取得）の次世代型研究に山形大学医学部と共同研究に入る		
R 6 年	地域衰退に伴うドラゴン屋台横丁開催により、2 万人の集客を実現する		
R 7 年	第 3 回ドラゴン屋台横丁開催に向け、実行委員会を設置 本格的な動きに入る		
賞 罰			
年 月	事 項		
平成 13 年	賞 神奈川県消防職団員殉職者慰霊祭奉納剣道大会優勝 神奈川県知事 罰 なし		
現 在 の 職 歴 の 状 況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
国際医療福祉専門学校	理事長補佐	救急救命学科	学園全体の統括業務
市原市議会	市原市議会議員		市議会対応 政務活動
令和 7 年 1 月 17 日			上記のとおり相違ありません。 氏名 増茂 誠二 印

別記様式第 4 号（その 2）

教 育 研 究 業 績	
令和 7 年 1 月 17 日	
氏名 増茂 誠二 印	
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
救急救命分野	救急救命士学生に対する教育論
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項	

2025 年度 法政大学大学院（様式 3）

事 項	年月日	概 要		
1 教育方法の実践例 ICT を活用した救急救命教育の実践	平成 26 年	救急現場のリアリティーを最大限に伝えるため、動画や画像を用いた講義を実現した。		
2 作成した教科書、教材 ドラマでわかる DVD 君も持てる「救命の手」一次救命処置！	平成 28 年	厚生労働省厚生労働省科学研究基金 中学校保健体育教材 制作 千葉大学教育学部附属中学校 高柳 佐土美 監修 増茂誠二		
3 水上におけるバックボード救出法を確立する	平成 28 年	国際医療福祉専門学校 救急救命学科による研究指導		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 救急救命士教育大会における発表 「教員の質の向上について」	平成 28 年	救急救命士養成機関における教員の質の向上について講義する。リアリティーの強調が学生の教育効果に著しく影響する。		
5 市原高滝湖マラソン大会の救護体制の確立	平成 28 年	ドローンによる上空からの監視体制をと AED 搬送を国内で初めて実施する		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事 項	年 月 日	概 要		
1 資格、免許 救急救命士 救急救命学修士	平成 13 年 11 月 平成 20 年 3 月	第 20677 号 国士舘大学大学院スポーツシステム研究科スポーツシステム専攻 第 07MD107 号		
2 特許等 第 7 稿レスキューボイス 特許第 6836865 号	平成 28 年 7 月	特許願 P16-4 A61H 31/00 100169188 弁理士 寺岡秀幸		
3 実績の経験を有する者についての特記事項 一般社団法人 全国救急救命士養成施設協議会 BLS 普及啓発委員長 一般社団法人 全国救急救命士養成施設協議会 副代表理事に就任	平成 23 年 4 月 平成 28 年 4 月	全国の救急救命士学生に対し地域の救急蘇生率向上のための普及促進させる救急救命士法 44 条 2 項の変更に伴う要望書を前文部科学大臣松野博一氏に提出。厚生労働省医政局地域医療計画課長 に要望（同席：田中秀治医学博士）		
書籍発行 「人を守り自分を守る 緊急事態対応マニュアル」	令和 1 年 4 月	ケガや病気の緊急対処法を分かりやすく解説 発行元 晴れ書房		
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
e-Word 貫きたい志 救命道	単著	平成 26 年 vol27 No7 July	EmergencyCare メディカ出版	20 年の消防経験から救急救命士の役割や将来の救急救命士像を解く。暴力団抗争でによる負傷者の蘇生や、救急救命士が現場活動の中で特に必要な知識や技術、解剖学の重要性などを解く。

2025 年度 法政大学大学院（様式 3）

救命教育の ICT 活用と人間教育	単著	平成 27 年 vol172 November	J レスキュー イカロス出版	専門学校だからこそできる人間教育。ICT 技術がリアル感を共有。 救急救命士養成校において国内初の ICT 教育を実現した。ICT 教育が生み出すリアリティーが今後救急救命士教育に多いに活きる事を解く。研究要旨: 平成 18-20 年度の厚生労働科学研究費補助金「循環器疾患等生活習慣病対策総合 研究事業」
<p>小児心停止救命率向上に伴う AED を含めた包括研究</p>  <p>ドクターカー整備に尽力</p>  <p>学生との市内の救護活動に尽力</p>  <p>橋本聖子オリパラ大臣との救護活動会談</p>	共著	平成 24 年	平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究	<p>「自動体外式除細動器 AED を用いた心疾患の救命率向上のための体制構築に関する研究」(代表研究者:丸川征四郎)の「小児心肺停止例への AED 普及にかかわる研究」の継続として、「小児心停止救命率向上のための AED を含めた包括的研究」を行ってきた。今年度研究としては、平成 21-22 年度の各種研究課題の結果を継承しつつ、殊に社会的に重要な以下 5 課題を発展的に研究することとした。</p> <p>課題 1:小児院内心停止の疫学基盤と介入研究 課題 2:小児に対する胸骨圧迫の強さと心肺蘇生の品質モニタリングに関する研究 課題 3:自動体外式除細動器(AED)の 乳児への適応拡大に関する研究 課題 4:病院前救護における小児院外心停止症例に対する除細動に関する研究 課題 5:学童の心臓性突然死の実態、病因解明とその予防、治療指針作成に関わる研究</p> <p>小児院内心停止の疫学基盤と介入研究においては、登録 Web 画面改良</p>

<div data-bbox="156 295 485 490" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="151 486 499 557" data-label="Caption"> <p>市内各地に屋外 A E D を整備</p> </div> <div data-bbox="156 736 485 947" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="151 943 470 1014" data-label="Caption"> <p>緊急対応マニュアル執筆 晴れ書房</p> </div> <div data-bbox="156 1160 475 1366" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="156 1361 470 1435" data-label="Caption"> <p>ドラマ東京 M E R に出演 (動く救命処置室)</p> </div> <div data-bbox="156 1543 475 1753" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="151 1749 499 1859" data-label="Caption"> <p>千葉県歯科学会にて歯科治療中の心肺停止について歯科医師に講義する</p> </div>			<p>によりデータ欠損が減少し、良質なデータで海外と比較することが可能となり、国内の現状もより正確に把握できた。小児に対する胸骨圧迫の強さと心肺蘇生の品質モニタリングに関する研究では、小児心肺蘇生における胸骨圧迫の新しい指標として新たな絶対値指標を提唱し、ガイドライン 2010 作成過程において国際的貢献を果たした。これらの目標値に対して実際の圧迫の深さをモニタリングすることが必須であると考えられ、それを可能とする小児用各種器械開発に結びつける研究の端緒とした。AED の乳児への適応拡大に関する研究にあっては、検証基盤としての小児心電図ライブラリが作成され、様々な機種の小児心電図波形解析能力検証ができるようになり、わが国への安全な AED 小児適応の拡大に寄与する基盤整備に寄与した。今後被験者数の設定要件を満たすためには心室頻拍、上室頻拍の症例を増やす必要があり、全国主要施設と協力してライブラリを完成させる必要がある。病院前救護における小児院外心停止症例に対する除細動に関する研究では、ガイドラインで小児への AED 使用適応範囲が拡大したものの、小児に対する環境は不十分であり、早急に整備が必要であることが分かった。企業に対しわが国に即した製品開発を促すのみなら</p>
--	--	--	--

 <p>能登半島地震にて宇野 理事長と共に生活用水確保のため、現地の井戸掘削に尽力する。</p>  <p>市民普及用救命機器の開発により特許取得</p>	共著	平成 27 年	平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(奨励研究)	<p>ず、全国の MC 体制下の整備 状況を調査すると共に、過去において適応のない機種により除細動が行われた事例について再検 証する必要性が示唆された。学童の心臓性突然死の実態、病因解明とその予防、治療指針作成に 関わる研究においては、学校における児童生徒の心原性院外心停止に対する AED の有効活用による学校救急体制の最適化、心臓性院外心停止の病因の解明と学校検診、院外心停止例の診療への フィードバックの必要性が示された。</p> <p>安全なスポーツ環境の確保のために、学校教育現場での AED の積極使用を含めた蘇生教育の強化を推進する必要がある。そこで、2 年生の生徒を対象に、科学的根拠に基づいた心急手当の意義と一次救命処置の実習における評価する視点を明確にした授業展開をした。授業に取り組んだ結果、単に心肺蘇生の手技を形として学ぶのではなく、救命の意義と自分の手が「救命の手」になることを理解させ、人間としての倫理観、価値観の育成に寄与することが示唆された。さらに指導者のトレーニングの必要性についても確認できた。</p>
 <p>東京女子体育大学にて救命法の指導方法にて講義する</p>	共著	平成 26 年	月刊「心とからだの健康」健学社第 24 巻第 10 号	<p>クイズと答えの 2 枚のビジュアル教材の壁新聞である。クイズ編では「急に人が倒れた！どうしたんだろう」と動かなかった友達がなぜ動かなかったのか 3 択にした。答え編では、心臓が止まったときにどうしたらいいのか胸骨圧迫の手技、AEDの使用について写真入りで解説している。</p> <p>日本養護教諭教育学会</p>

<div data-bbox="156 190 480 414" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="150 409 501 519" data-label="Text"> <p>救急救命士教育に献体を使 っての実習を国内で初めて 取り入れる</p> </div> <div data-bbox="156 593 474 813" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="150 806 501 882" data-label="Text"> <p>県立木更津高校にて救命講 習を定期的に行う</p> </div> <div data-bbox="156 990 474 1198" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="150 1191 501 1267" data-label="Text"> <p>市原市内全域で防災講義を 行う。</p> </div>			<p>第 22 回日本養護教諭 教育学会学術集会抄 録 p246-247</p>	
---	--	--	--	--

2025 年度 法政大学大学院（様式 3）

<p>小中学校養護教諭の BLS 技能向上に向けた指導資料などの開発と研修のための基礎研究</p> <p>ビジュアル教材「救急救命は最初の対応がとても大切」「急に人が倒れた！どうしたんだろう」</p>				
<p>ワークショップ 「救急救命指導者メソッド」</p>				

著書・論文等

- 1, 緊急事態マニュアル：監修 森脇龍太郎 編著 増茂誠二 川岸久太郎 晴れ書房
- 2, EmergencyCare : e-Word 貫きたい志 救命道 [単著] メディカ出版 2014 vol27 No7 July
- 3, J レスキュー：救命教育の ICT 活用と人間教育 [単著] イカロス出版 2014 vol72 November
- 4, 平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 病院前救護における小児院外心停止症例に対する除細動に関する研究 A. 研究 AED を含めた包括的研究 清水直樹 1) 増茂 誠二 4)

2025 年度 法政大学大学院（様式 3）

5, 剣道中の心肺停止発生状況と緊急時安全対策のあり方

Analysis of Cardiopulmonary Arrest in Kendo

国土館防災・救急救助総合研究所 = Journal of disaster management and emergency medical system, Kokushikan University (5), 27-34, 2019-10

6, The Basic Life Support Education For The Elementary School Pupil

[共著] ACEM 2013 The 7th Asian Conference on Emergency Medicine

国際学会 アジア救急医学会東京国際フォーラム

7, The Effectiveness of School CPR Trainer Provided By Elderly People

[共著] EMS ASIA 2016 The 4th Asian EMS Conference The-K Hotel Seoul Korea

国際学会 アジア救急医学会 韓国

8, 小中学校養護教諭の BLS 技能向上に向けた指導資料などの開発と研修のための 基礎研究[共著] 平成 27 年度科学研究費助成事業(科学 研究費補助金)(奨励研究)

9, ビジュアル教材「救急救命は最初の対応がとても大切」「急に人が倒れた! どう したんだろう」[共著] 月刊「心とからだの健康」健学社第 24 巻 第 10 号

10, 救急救命指導者メソッド 平成 26 年

[共著] 第 22 回日本養護教諭教育学会学術集会抄録

11, 小学生を対象にした BLS 教育の効果の検証

[共著] 日本救急医学会雑誌 24 巻 8 号

11, 中学生における心肺蘇生法教育実施後の知識の長期定着についての検討

[共著] 日本臨床救急医学会雑誌

12, 小学生における心肺蘇生法教育のあり方 [共著] 日本臨床救急医学会雑誌 12(2)1